



浪江防災コミュニティセンター

# 3月定例会・ 第1回臨時会(1月)

定例会  
議案要旨…………… P 2  
議案審議…………… P 3～P 4  
採決状況…………… P 5  
一般質問…………… P 6～P 11

委員会のうごき…………… P 12～P 14  
議会活動報告・委員会活動報告… P 15  
令和3年度活動報告…………… P 16～P 17  
アンケート調査結果…………… P 18～P 19  
町民の声…………… P 20

# 令和4年度当初予算が 可決されました

一般会計 328億3200万円 (対前年比 83億6300万円 34.2%)

9特別会計 72億 598万円 (対前年比 8196万7千円 1.2%)

総 額 400億3798万円 (対前年比 84億4496万7千円 26.7%)

## ● 目的別歳出の主なもの（一般会計）

目的区分	予算額	構成比	対前年比
総務費	103億4128万8千円	31.4%	78.1%
民生費	23億9321万3千円	7.3%	▲ 4.8%
衛生費	12億9787万円	4.0%	2.6%
農林水産業費	52億4783万9千円	16.0%	59.0%
商工費	22億6703万6千円	6.9%	▲ 40.8%
土木費	62億5605万2千円	19.1%	107.0%
消防費	23億574万1千円	7.0%	8.5%
教育費	19億6697万6千円	6.0%	9.3%

詳細については、広報なみえ4月号「令和4年度予算のあらまし」に掲載されておりますので、これをご参照ください。



浪江町復興計画【第三次】に掲げられた各施策を推進するとともに、「持続可能なまちづくり」に向けた取り組みに重きを置いた予算編成となっております。

## 要旨

3月定例会は、3月3日から15日までの13日間を会期として開催しました。

町長からは条例の制定・改正・廃止、町道の認定及び廃止、契約の締結・変更、令和3年度補正予算、令和4年度当初予算など37件の議案が提出されました。また、議会からは6件の議案を提出し、これらについて審議を行いました。

議案の主な質疑内容は3～4ページ、審議結果（採決状況）は5ページに掲載のとおりです。

### 【主な議案等の内容】

- 条例制定・改正のうち、**東日本大震災等による被災者に対する令和4年度の国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例**の制定は、東日本大震災及び原子力災害の被災者に対し、引き続き、国民健康保険税（世帯に属する被保険者の基準所得額の合算額が600万円を超える世帯を除く）及び介護保険料（第1号被保険者（65歳以上）の合計所得額が633万円を超える者を除く）を全額免除することを目的としたものです。また、**双葉郡浪江町役場支所設置条例**の一部改正は、津島支所の位置を「大字下津島字町45番地」から「大字下津島字松木山22番地1」に改正するもので、令和4年4月1日よりつしま活性化センターに支所を移転するものです。
- 条例廃止のうち、**マリンパークなみえ設置条例の廃止**については、東北地方太平洋沖地震及びその後の津波による被害を受け解体撤去となったマリンパークなみえを廃止することに伴い、条例を廃止するものです。
- 浪江町道路線の認定及び廃止**については、南産業団地整備、防災林造成等に伴い路線の認定及び廃止をするものです。
- 工事請負契約の締結のうち、**育苗施設敷地造成工事【9680万円】**は、苧宿字鹿畑地内の育苗施設整備事業に伴うものです。
- 令和3年度補正予算は一般会計ほか6つの特別会計及び事業会計を補正するもので、このうち、**一般会計補正予算**は、歳入歳出それぞれ26億4034万6千円減額するもので、これにより予算総額は342億4708万2千円となります。

## 主な質疑内容を報告します。

(囲み数字は議案番号)

# 条例改正

### 9 職員の給与に関する条例の一部改正(三つ立て)

**質問(山崎)** ①人事評価制度はどのような制度か。②5段階評価の支給率割合は。

**総務課長** ①自分で立てた達成目標に対する業績の達成評価と個人の能力評価の2つの観点から評価をするようになりまして、まずは課長による1次評価、副町長による2次評価をして、最終的に町長の認定を受け、5段階での評価となります。②勤勉手当の支給率は基本1000分の95になり、SからDまで5段階の評価になります。Bが基準になり1000分の95という支給率になり、下のランクのC、Dについては、それぞれ約5%ずつ落とし、1000分の90、1000分の85で、上のランクS、A

については、Sが最高になり、1000分の105、Aが1000分の100というような支給率になります。

(賛成全員で可決)

### 11 浪江町消防団設置等に関する条例の一部改正について

**質問(紺野(榮))** 副分団長だけ報酬が変わりないのはなぜか。

**総務課長** 副分団長に関しては、業務量等を勘案し、据え置き形をとっております。

(賛成全員で可決)

# 契約の変更

### 17 工事契約の変更について

(堤上ため池環境保全整備工事)  
【1億5990万1000円の増】

現在工事中の堤上ため池保全整備工事をする中で、放射性物質濃度の対策面積の増加、浚渫工事の変更、施工実績による資材の増加が必要となり、増額するものです。

### 質問(小澤)

①施工前の調査と事前の調査の違い・相違点でその結果・違いの説明は。②マニュアルの見直し等は。

**農林水産課長** ①事前調査は、

ため池工事の設計をするため代表地点を調査し、マニュアルに基づき対策範囲や深度を決定し発注いたします。

その後、請負業者にて事前調査を基に施工範囲の調査を行い、確実に放射性物質を取り除くこととしていきます。

しかしながら、ため池ごとに現場状況が異なることからマニュアルではどうしても反映しきれない条件等もあるため、土の数量や固化材の数量等が増えていくこととなります。

②マニュアルは農林水産省で策定しており、過去の施工実績に基づき平均的な設計の仕方です。

(賛成全員で可決)

# 当初予算

### 28 令和4年度一般会計予算

**質問(佐々木(勇))** 津島防災備蓄倉庫等整備事業は、緊急時には何名分の備品等を備蓄する倉庫か、また内容は。

**総務課長** 備蓄として約100人程度を見込んでおり、食品、飲料水、毛布等がメインとなります。

**質問(紺野(則))** 幼稚園の敷地復旧事業について、原発事故による原因者である東京電力に対し、復旧工事に対する請求は町でどう考えているか。

**企画財政課長** 国や県の財源を使って復旧した場合には、東京電力への請求は考えてございませんが、もしこれに該当しないような費用がある場合には、しっかりと請求してまいりたいと考えています。

**質問(紺野(榮))** 営農再開支援事業の事業内容は。

**農林水産課長** 原発事故の影響により農産物生産中止を余儀なくされた避難地域や作付制限

区域において営農を休止した面積の6割で営農を再開することを目標に営農再開を目的として行う取組や放射性物質の吸収抑制対策を支援する事業です。当町では19メニューに対して取り組む予定です。

**質問(紺野(豊))** 海外学習委託事業について、今のコロナ禍の影響の中でどのように取り組んでいくのか。

**教育次長** コロナの状況、そういったものを勘案しながら、基本的に海外渡航をして異文化交流を図ることで予算立てをしましたが、コロナの状況、諸事情も検討しながら、場合によっては今年度と同じような国内ということも視野に入れ事業を進めていきます。予定としては夏休み期間を想定し、計画をしているところです。

**質問(渡邊)** 6月に福祉センターが立ち上がるが、どういうところが新しくなるのか。

**介護福祉課長** 福祉センターについては、地域密着型の通所介護事業のほか、事務所等については介護保険事業、障害福祉事業等を実施する事業所が入ることとなっております。この施設は

介護保険、障害福祉の事業を実施する中心的な施設となります。

**質問(山崎)**

戸籍証明書等の広域化に係るシステムの改修事業によって事務効率化の向上か、町民の手續の簡略化による町民の利便性の向上か、それとも両方なのか、概要は。

**住民課長**

全国の戸籍担当窓口で広域交付を戸籍で受けることができること、および行政手続き時の戸籍添付ではなく戸籍窓口での確認だけで実施できることから、町民の利便性の向上が図られます。また、発行業務の減少から事務の効率化も併せて図られると考えております。

**質問(山本)**

①デマンド交通運行事業について、時間の延長等はないのか。②日産でモバイル、実証実験の事業もあり、これをもう少し活用できれば時間帯の延長など幅を広げた活動を計画に入れているか。

**企画財政課長**

①デマンド交通については、時間の延長につきましては、難しい状況です。②日産の実証事業ですが、これは実装されているものではありませんが、日産では自動運転の研究をしており、将来に向けてそ

の自動運転を使った交通サービスがどんなものができるのか、自動運転が完成してから考え始めたのでは遅いため、並行してどんなことができるのかをソフト事業を併せて研究している、そのフィールドとして浪江町を選んではいただいている事業であり、現在研究中です。補助金等を日産で受け、実施しているものです。これがどのように町の活用ができるのかということは今後も併せて検討してまいりたいと考えております。

(賛成全員で可決)



**諮問案件**

**① 人権擁護委員に適任**

任期満了に伴い次の方々を適任としました。

- 鈴木 恵 一氏 (再任)
- 星 秀 美氏 (再任)
- 渡 邊 由起子氏 (新任)
- 堀 井 宏 宣氏 (新任)

**請願審査**



○文教・厚生常任委員会に付託した次の請願について審査しました。

件名	委員会の意見
仮称：浪江町歴史民俗資料館（アーカイブ施設）建設を求める請願書	趣旨理解する。よって、本会議において採択すべきである。
『浪江町震災伝承アーカイブ施設』の設置に関する請願書	趣旨理解する。よって、本会議において採択すべきである。
東京電力福島第一原発事故による避難者の医療・介護費用の減免措置継続を求める請願	趣旨理解する。よって、本会議において採択すべきである。

**人事案件**



**① 副町長の選任**

3月末で退任される小林弘典副町長の後任として、成井祥氏（福島県職員）を選任しました。

**規則改正**



**② 浪江町議会会議規則の一部改正**

会議における情報通信端末機器の導入に伴い、議会関係資料の印刷枚数の削減及び効率的な閲覧・運営をするため、所要の改正を行うものです。

**○改正の内容**

**1 出席催告**

定足数の規定による出席催告の方法について、「電子メール等」を加える。

**2 情報通信端末の使用**

会議における情報通信端末機器の使用について、新設する。

**意見書**



○東京電力福島第一原子力発電所事故による避難者の医療・介護費用の減免措置継続を求める意見書

**○意見書の提出先**

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・厚生労働大臣・復興大臣・財務大臣

**○意見書の内容**

医療、介護費用の負担を軽減してきた支援策の縮小、廃止の検討を中止し、減免措置継続を要求するもの。

## 令和4年3月定例会の採決状況 (3月14日・15日採決)

議案番号	議案 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	関連ページ	
			武藤 晴男	紺野 豊	吉田 邦弘	佐々木 恵寿	小澤 英之	半谷 正夫	細野 則夫	佐々木 茂	山本 幸一郎	高野 武	渡邊 泰彦	松田 孝司	平本 佳司	佐々木 勇治	山崎 博文	紺野 榮重			
議案第4号	浪江町教育職員の給与の特例に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第5号	東日本大震災等による被災者に対する令和4年度の国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第6号	浪江町企業立地促進条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第7号	双葉郡浪江町役場支所設置条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第8号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第9号	職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
議案第10号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第11号	浪江町消防団設置等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
議案第12号	浪江町防災交流施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第13号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第14号	マリナーパークなみえ設置条例の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第15号	浪江町道路線の認定及び廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第16号	工事請負契約の締結について (育苗施設敷地造成工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第17号	工事請負契約の変更について (堤上ため池環境保全整備工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
議案第18号	工事請負契約の変更について (上ノ原ため池環境保全整備工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第19号	工事請負契約の変更について (丈六公園整備工事 その2)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第20号	令和3年度浪江町一般会計補正予算 (第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第21号	令和3年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第22号	令和3年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算 (第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第23号	令和3年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算 (第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第24号	令和3年度浪江町農業集落排水事業特別会計補正予算 (第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第25号	令和3年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算 (第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第26号	令和3年度浪江町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第27号	令和3年度浪江町水道事業会計補正予算 (第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第28号	令和4年度浪江町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2・3・4
議案第29号	令和4年度浪江町文化及びスポーツ振興育成事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第30号	令和4年度浪江町国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第31号	令和4年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
議案第32号	令和4年度浪江町公共下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第33号	令和4年度浪江町工業団地造成事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第34号	令和4年度浪江町農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第35号	令和4年度浪江町介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第36号	令和4年度浪江町財産区管理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第37号	令和4年度浪江町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第38号	令和4年度浪江町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
同意第1号	副町長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
請願第3号	仮称：浪江町歴史民俗資料館（アーカイブ施設）建設を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第1号	『浪江町震災伝承アーカイブ施設』の設置に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第2号	東京電力福島第一原発事故による避難者の医療・介護費用の減免措置継続を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発委第1号	浪江町議会会議規則の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
発議第1号	東京電力福島第一原子力発電所事故による避難者の医療・介護費用の減免措置継続を求める意見書(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
	委員会の閉会中の継続審査又は調査の申し出について	決定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

## 令和4年第1回臨時会の採決状況 (1月27日採決)

議案番号	議案 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	関連ページ	
			武藤 晴男	紺野 豊	吉田 邦弘	佐々木 恵寿	小澤 英之	半谷 正夫	細野 則夫	佐々木 茂	山本 幸一郎	高野 武	渡邊 泰彦	松田 孝司	平本 佳司	佐々木 勇治	山崎 博文	紺野 榮重			
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて (令和3年度浪江町一般会計補正予算 (第4号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第1号	工事請負契約の変更について (地域公共施設外構整備工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第2号	工事請負契約の変更について (運動公園照明整備工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第3号	令和3年度浪江町一般会計補正予算 (第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	—



※佐々木恵寿議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。  
 ※閉会中の継続審査は採決を行いません。  
 ※定例会・臨時会の会議結果は町ホームページでもご覧になれます。



## 5 議員が質問

### ■紺野 榮重 (7ページ)

- (1) 移住定住施策の件
- (2) ゼロカーボンシティの推進
- (3) 農林水産業の復興について
- (4) 町政懇談会
- (5) 帰還困難区域再生の件
- (6) 浪江町協定について
- (7) 国際教育研究拠点の件

### ■紺野 則夫 (8ページ)

- (1) 医療費、介護費の無料化について
- (2) 町政2期目について

### ■佐々木 茂 (9ページ)

- (1) シルバー人材センターの復活について
- (2) 日本海溝、千島海溝巨大地震の想定について
- (3) 町づくりについて

### ■武藤 晴男 (10ページ)

- (1) 震災から11年を迎える今、浪江町をどんな町にして行くのかについて
- (2) 新たな産業創出をするかについて
- (3) ゼロカーボンシティの取り組みについて
- (4) 帰還困難区域に対する町の復興・再生について

### ■吉田 邦弘 (11ページ)

- (1) 新型コロナウイルスワクチン接種について
- (2) 認定こども園・学校・公共施設の防犯対策について
- (3) 災害対策について
- (4) 診療所について

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員の質問・答弁を合わせて1000文字程度に要約していますので、ご了承ください。

# 町政と問答

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、政治的姿勢を明らかにするものです。そのことにより、現行政策の変更、是正あるいは新規政策の採用などの効果があります。





● 紺野 榮重 議員 ●

**Q** 大規模農家を育てるのが国の方針ですが、小規模農家も大事にしないと復興にならない。町の考えを伺います

**A** 当初予算において小規模農家への支援として新たな支援策を提案しております



営農再開を目指して（たらの芽栽培）

**質問** 今年度の作付け状況と来年度の作付け予定を伺います。

**農林水産課長** 水稲167ha、野菜果樹74ha、花卉類8haその他23ha、合計272haです。

来年度は水稲244ha、野菜果樹93ha、花卉類8ha、その他28ha、合計373haの見込みです。

**質問** 新規就農者、農業法人誘致実績を伺います。

**農林水産課長** 令和3年度、認定新規就農者は3名、農業法人は2法人です。

**質問** 6次化されている農産物、そして今後どのように力をいれていくか伺います。

**農林水産課長**

石井農園のえごま、まちづくりなみえの唐辛子、農業協同組合の玉ねぎがあり、今後は加工設備の導入、施設への支援を強化します。

**質問** 高瀬左岸幹線用水路の復旧状況を伺います。

また、請戸頭首工は何時通水できるか伺います。

**農林水産課長**

令和4年度当初に通水できない旨を営農者に報告しました。しかし応急

処置により末森用水路へ通水可能との連絡を受けました。請戸頭首工は令和5年度からの通水を目指しています。

**居住人口増やすのは浪江町に移住を推進することが大事！**

**質問** 復興計画第3次で令和17年、町内人口80000人年次目標を伺います。

**企画財政課長** 年次目標は特にありませんが、人口増に向けて積極的に取り組んでおります。

**質問** 移住定住どのようにして増やしていくのか、相談窓口設置されての成果を伺います。

**企画財政課長** 移住定住に関して、①町を知ってもらう②体験してもらう③職について移住してもらう、個人の生活や人生と連動した段階に対して各種施策を提供する必要があると考えています。成果は、令和3年4月から12月までの移住者37人です。相談件数は32名、50件です。

**質問** 浪江町として他所の市町村と違う支援策を伺います。

**企画財政課長** 家賃の補助という制度は浪江町しかやっていない支援策です。

**是非浪江町を中心に国際教育研究拠点誘致**

**質問** 浜通りに整備計画の国際教育研究拠点、町長の考え、現在どのように進んでいるか伺います。

**町長** 令和3年度内に基本構想策定、令和4年度基本計画と併せて具体的な検討、福島県からの意見を尊重して立地を決定するとされています。

**質問** 建設場所は双葉郡になるのは間違いはないと思います。できる限り浪江町中心になるように頑張らなくてはならないと思います。町長の考えを伺います。

**町長** 県から意向調査があった場合、しっかりと提案できるように準備を進めます。



● 紺野 則夫 議員 ●

Q 医療費・介護費の無料化についての認識は

A 無料化の継続は国の責務と考えております

医療費・介護費の無料化継続について

**質問** 一昨年の6月、12月の定例会でも無料化に対する町の認識、さらに、今後の対応について質してまいりました。町長は、医療費の無料化は避難生活も10年目となる中、医療費無料化の継続は必要不可欠なものであり、生命をつなぎ生きるための「命のパスポート」として認識しており、国に対し、「安心して生活ができるよう財政支援の継続を求めてまいります。」と答弁しております。今もその認識は変わっていないと思いますが、再度町長の考えをお尋ねいたします。

**町長** 町の約8割がまだ帰還困難区域であり、帰りたくても帰れない町民が数多くいる中で、命の基本である健康を保証することが国の責務と考えており、現行制度の継続は必要な措置であると考えております。

**質問** 避難から11年が経過しようとしています。ほとんどの町民は町外への避難を余儀なくされ、経済的不安、健康不

安を抱えながらの生活であり、今を生きていることが精一杯の状況にあることは確かであり、今後ますます生活困窮が予測され医療費・介護費の負担が生活費に重くのしかかってくることは明白であります。医療費・介護費の無料化の継続は町民にとって切実な願いであります。政府は昨年10月原発事故避難者に対し、医療、介護の負担を軽減してきた支援策について、2023年度にも見直すとしております。帰還困難区域の町民は対象外とし、避難指示が解除された町民を対象とした見直しの方針案が示され、関係自治体との協議を開始するとしております。そこで、昨年11月に当町と国において方針案について協議されたと思いますが、協議内容についての詳細をお伺いいたします。

**町長** 昨年11月8日に国から町に対し、制度見直しの説明がありました。その内容は、保険料の見直しから行い、次に負担金の免除の見直しと、段階的に見直す説明を受けましたが、町として今回の見直しについては反対の意見を申し上げ、今後も現行制度を維持するよう強く要

望したところです。

町政2期目について

**質問** 4年前の町長選での当選から、早いもので4年が経過し、1期目が終了しようとしております。町長は、亡き馬場有町長の遺志を引き継ぎ、どこにいても浪江町民を掲げながら町残しに奔走してきたものと思われ、特に水素を使った大規模な実証を進め、商工業、農業、交通、教育など様々な分野での水素利用を目指し、町発展のため尽力されたことは言うまでもありません。さらに買い物環境の整備、企業誘致、福祉施設の建設など吉田町政の手腕を高く評価するものです。

さらには、昨年3月に第三次浪江町復興計画が策定されました。その内容は、夢と希望のある産業と仕事づくり、未来を担う人づくり、帰還困難区域の再生と住みよい環境づくり、健康と福祉のまちづくり、絆の維持と持続可能なまちづくりを掲げております。この復興計画は、吉田町政がなすべきものであり、2期目に期待するものです。そ

こで、今夏に予定されている町長選、2期目に挑むのかを含めてその決意を伺います。

**町長** 今、私がなすべきことは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う対策強化であり、町民の命と暮らしを守る、また、今まで進めてきた復興再生事業を遅延なくハード・ソフト面を含めて、町民の理解のもと、職員、議会とともに進めることだと思っております。残された5カ月間最善を尽くす、このことに尽きると考えております。再出馬については、現在白紙の状況であります。



● 佐々木 茂 議員 ●

**Q** 高齢者の活躍の場として、シルバー人材センターを復活させていただきたい

**A** 庁内で検討を進めたい。元氣な働き手、生きがいを求めて組織化し、町の復興に寄与するものと期待します



新設された堤防

**建設課長** 町が防災集団移転促進事業で取得した用地を利用するため移転元地活用方針をたてました。海岸堤防や防災林

**質問** 海岸線背後地に農業や加工団地等の誘致を考えているという話がありました。自然災害については常に恐れるという考えを持つております。減災の意味で国が進めている遊水地や浜街道の大幅なかさ上げ等検討してみはどうですか。

**企画財政課長** 責任の所在は、原子力政策を進めた国、事故の原因者である東京電力にあります。

**質問** そうゆう答弁を求めています。町を壊したのは国の原子力政策であり、東京電力

**町長** 浪江高校の再開を目指す方向性は大事と思います。しっかりと町づくりをして、その結果として高校の再開が現実的対応と考えます。

**質問** 町づくりのために復旧が大切な復興が大切な伺います。

**企画財政課長** その施策が復旧なのか復興なのかを区別しておりません。現状に必要な施策を実施しています。

**質問** 住民の願いとして、町を元通りにして欲しいと考えています。住民生活全て破壊したのはだれの責任ですか。

**教育長** 高校は町復興に欠かせないと考えています。積み重ねた伝統は住民の心のよりどころです。将来的な帰還を前提とした検討を県に申し入れています。再開は未定ですが復興状況、帰還状況、就学状況を注視していると聞いています。

町長への質問

**質問** 浪江高校の再開に向けての考えを伺います。

は津波被害を減らす目的で設置されています。浜街道のかさ上げは、すでに復旧済であることと災害危険区域に指定されていることから県からは困難であると報告を受けています。

の安全神話に基づく不確実な安全管理が大きな被害をもたらしました。復旧復興のため国や東京電力に対して要求要望を突き詰め、ぜひ町づくりのため、町民が帰れるようになるまで議会も一緒に頑張りたいと考えています。

日本海溝、千島海溝  
巨大地震について

**質問** 千島海溝地震について発表されました。東日本大震災並みの地震が想定されています。南相馬市は19m、大熊町14m、完成した堤防は7m位です。

**総務課長** 町としては起こることを認識しています。堤防高は数十年数百年程度の頻度で起こると考え、津波高潮波浪の安全性を踏まえ7・2mに設定されています。避難訓練、防災意識や避難対策の充実推進に努めてまいります。

町の認識を伺います。



● 武藤 晴男 議員 ●

**Q** 特定復興再生拠点で高線量スポット地点が残った場合浪江町の対応について

**A** 避難指示解除要件は、年間積算放射線量が20ミリシーベルト以下にすることと、もしも高線量のホットスポットがある場合は町民と十分な協議などして、フォローアップ除染をします

**質問** 空間線量が規定以下になるまで今後、何度でも要望を出し続けるか伺います。

**企画財政課長** 国は自ら長期的な目標追加被曝線量を年間1ミリシーベルト以下を目指しますと記載しているので、町は当然と思っています。また、折に触れてしっかりと対応していただけるよう要請していきます。

**質問** 特定復興再生拠点外の避難指示解除に向けたロードマップと住宅解体計画について伺います。

**企画財政課長** 帰還困難区域は長期避難が強いられています。すぐに帰還意向を示すことのできない住民の家屋については速やかに方針を示すよう強く求めます。

**質問** つしま活性化センター改修工事完了後のインフラ整備について伺います。

**企画財政課長** 井戸の整備は国へ申請した後、町が整備します。合併処理浄化槽の汚泥の引き抜きは環境省が1回に限って受付します。また、電気、ガス、固定電話については準備宿泊前までに、郵便については避難指示解除時点で使用可能になるよう準備をします。

浪江町をどんな町の顔にしたいかについて

**質問** 浪江駅周辺整備計画2021年度進捗状況と2022年度の計画について伺います。

**建設課長** 今年度は駅周辺造成基本設計をし、町道の拡幅、道路の構造、無電柱化及び歩道と車道共存等の検討をしました。また、隈研吾建築都市設計事務所、伊東順二事務所、住友商事



浪江駅周辺整備計画  
先導整備エリアのイメージ

株式会社と居住施設、交流施設、商業施設、緑空間の配置及びデザインについて検討しました。来年度は、造成の詳細設計及び各施設の建築基本設計を進めます。駅西側のふれあいセンターなみえの新しい各施設は、6月のオープンが目標です。更に、駅東西通路は本年度基礎調査を行い駅前広場の位置などの検討をしました。駅西側に長距離バスを利用する方のロータリーや駐車場の整備を予定しています。

新たな産業創出と町全体の産業配置について

**質問** 浪江町は優れた立地条件を生かした流通の一大拠点作りを目指す考えはあるか伺います。

**産業振興課長** 今後、町産業団地に進出していただく事業者も含め町内外の物流拡大が必要と考えています。そして、浪江ICなどの周りは好条件だと思います。

**質問** 町の北部と南部をエネルギー創出、東部を水産加工地域、中心部を居住区域、西側地域は流通地域と区分していく考えはあるか伺います。

**産業振興課長** 西側地区はまだ帰還困難区域ですが、今後避難指示が解除されれば津島地区を含め室原地区と末森や大堀地区などの地形、環境を生かした林業や農業、観光と言った分野で活用できないか考えています。大堀相馬焼については、陶芸の杜と各窯元、そして販売所の道の駅も含め、人の流れを作っていくと考えています。



● 吉田 邦弘 議員 ●

**Q** 認定こども園・学校・公共施設の防犯対策について、町はどのようにするか

**A** 不審者対策マニュアルを作成、さすまたと催涙スプレーを準備し、警察と連携して情報共有し、安心安全に努めます

コロナワクチンについて

**質問** 5歳から11才のワクチン接種取り組みについて、町の状況をお伺いします。また、12歳以上と以下では、接種量が異なりますが、間違わないための対策をお伺いします。

**健康保険課長** 5歳からの11歳のワクチン接種については、双葉郡合同でふたば医療センターにおいて3月から実施する方向で進めております。また、12歳以上と以下では、接種量の違いだけではなくワクチンの種類が違いますので、接種につきましては、会場や接種日を分けるなど、慎重に対応することになっております。

**質問** コロナ感染者が自宅療養になった場合、町としての取り組みはどのようなようになっていくかお伺いします。

**健康保険課長** 自宅療養者についての健康観察は、県保健所が実施しており、町としては保健所からの連絡により、健康状態の確認資料や血中酸素濃度を測定するパルスオキシメーター

及び療養者が希望した場合は食料品を届けることになっております。

災害について

**質問** 災害発生時、高齢者や障がい者など避難困難者の支援体制についてお伺いします。

**介護福祉課長** 避難者行動要支援者名簿の作成をすることとし、災害対策本部要配慮者対策班において、個別連絡や状況によっては避難所までの誘導を行っております。

診療所について

**質問** 5年後、10年後どのような医療体制になっているか町の考えと対策をお伺いします。

**町長** 浪江診療所は、帰還移住した町民、復興事業関連業者の健康不安解消のために設置をしております。安心していただける診療所であるためには、安定した医療体制が必要であり、

医療スタッフ、財源の確保が大きな課題と考えております。今後、体制強化のために診療科目の拡充も必要です。医療体制の充実につきましては、町単独で行うことに限界があるため、国・県に対して人材確保、財源の支援などに引き続き要望をしております。

住民の健康不安の解消を図るべく設置をしているところであります。施設は県有財産であり、その運営にあたり医師の高齢化や浪江診療所と同様に医療スタッフ、財源の確保など様々な課題もありますが、避難先における保健・医療の拠点として運営を維持していく方向で、引き続き県と調整してまいります。



5年後、10年後の医療体制は（浪江診療所）

## ● 総務常任委員会 ●

総務課、企画財政課、住民課、津島支所、出納室が所管する案件を審議しています。

委員長 渡邊 泰彦  
副委員長 小澤 英之  
委員 高野 武  
松田 孝司  
佐々木恵寿



### ■ 住民課 ■ 戸籍証明書等の広域交付について

**問** 戸籍証明書等の広域交付とはどのような内容か。

**答** 交付については、現在は浪江町役場本庁舎及び出張所のみとなっていますが、今後は全国の市町村の戸籍等の窓口において交付を受けることができるようになりますので利便性が図られます。なお、コンビニでの発行交付とは異なりますので注意が必要です。

### ■ 住民課 ■ ガンマカメラ測定事業について

**問** ガンマカメラ測定事業の具体的な内容はどのようなものか。

**答** 特定復興再生拠点の解除に向けて、環境省が行う除染後の測定とは別個に町独自の事業として、拠点区域の居宅敷地700か所において、ガンマカメラを使用して放射線量を可視化し、線量低減効果の確認を行い、町民の安全・安心に資する内容です。

### ■ 住民課 ■ 仮設トイレについて

**問** 帰還困難区域内に設置されている仮設トイレについて変更点はあるか。

**答** 一時立入を行う町民の利便性を図るため、区域内に15か所30基の仮設トイレを設置していますが、1か所2基のうち1基を洋式トイレとします。

### ■ 住民課 ■ 指定ごみ袋配布について

**問** 指定ごみ袋を配布する計画となっているが、配布内容は。

**答** ごみ分別方法等を周知し、違反ごみを無くすことを目的として、帰還及び移住者1200世帯に配布する内容です。

### ■ 総務課 ■ 津島支所について

**問** 津島支所を再開する計画になっていますが内容はどのようなものか。

**答** 津島支所については、4月再開とし、場所はつま活性化センターに移ります。

### ■ 企画財政課 ■ 起業人材育成支援事業について

**問** 新たに、起業人材育成支援事業が計画されていますが、事業内容は。

**答** 復興や地域課題の解決に対する意欲が高い人材・起業家を呼び込み、その活動を支援することにより、新たな流入人口を増やし、移住・定住の促進を図るものです。具体的な内容としては、浪江駅周辺整備事業における交流施設ができるまでの間、浪江駅前に、起業家等が活動するための場所として、トレーラーハウスを活用したワークスペースを整備します。また、起業に関する相談対応やセミナー等による情報提供、起業家間の交流や人材育成支援を行なうとともに、事業化に向けた心のケアや計画策定を支援してまいります。



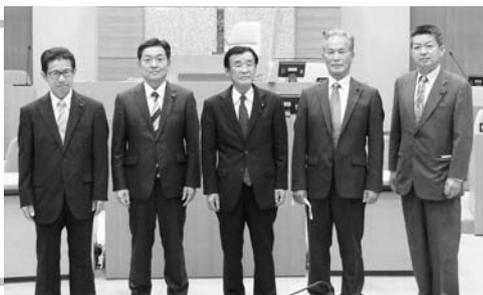
イメージ (トレーラーハウス)

### ■ 総務課 ■ 防災コミュニティセンターについて

**問** 3か所に新たに防災コミュニティセンターが設置されますが、大堀に設置されている防災コミュニティセンターと同様か。

**答** 大堀防災コミュニティセンターと同様、住民の防災意識の高揚、防災活動の推進等を図るとともに、住民の連携によるコミュニティの創造を図るための施設です。また、非常時における避難所として利用するものです。今回は、旧浪江中学校敷地内（旧スポーツセンター跡地）、旧荻野小学校敷地内、旧幾世橋小学校敷地内の3か所となります。

## ● 産業・建設常任委員会 ●



委員長 紺野 則夫  
副委員長 武藤 晴男  
委員 紺野 豊  
山本幸一郎  
山崎 博文

産業振興課、農林水産課、住宅水道課、建設課、農業委員会が所管する案件を審議しています。

### ■ 産業振興課 ■ 浪江町内の企業誘致実績と今後の予定について

**問** 各産業団地の進出状況は。

**答** 北産業団地は(株)バイオマスレジン福島が決定しました。棚塩産業団地は福島水素エネルギー研究フィールド、福島ロボットテストフィールド浪江滑走路、福島高度集成材製造センター、(仮)浪江町移動式水素ステーションが決定済です。南産業団地は曾澤高圧コンクリート(株)が決定しました。

### ■ 住宅水道課 ■ くらしに係わる支援について

**問** 支援金及び補助金の項目は。

**答** 被災者生活再建支援金制度は令和5年4月10日まで延長されます。他に町内へ帰還された方に対し、住宅清掃費補助金、住宅再建支援補助金、住宅用太陽光発電補助金、住宅等鳥獣被害対策事業補助金などの制度があります。

### ■ 産業振興課 ■ ゼロカーボン実現の取り組みについて

**問** 令和4年度浪江町次世代自動車等導入促進補助制度は。

**答** 令和4年度から国、福島県の補助金とは別枠で、下表のとおりとなります。

対象	1台あたりの補助額	補助台数
F C V (燃料電池自動車)	30万円	20台分
E V (電気自動車)	7万5千円	20台分
架装・改造経費	20万円	10台分

※新車及び町内に車庫証明を有するもの

**問** その他再生可能エネルギー関連の補助制度は。

**答** 令和4年度新規で家庭向け蓄電池等の導入助成が有ります。イメージ (購入補助対象車) また、家庭用エネルギー管理システム、電気自動車充電設備の導入補助金も新設します。



イメージ (購入補助対象車)

### ■ 農林水産課・農業委員会 ■ 令和3年度事業実績と令和4年度事業計画について

**問** 令和4年度水稲管理耕作に向けた担い手と作付け面積は。

**答** 令和4年度の担い手は93人、作付け見込み面積は373haを予定しております。

**問** 令和3年度の有害鳥獣としてのイノシシの捕獲実績は。

**答** 令和4年2月末時点での捕獲状況は解除区域が450頭で、帰還困難区域は496頭でした。今後、特定復興再生拠点の避難指示解除により、駆除活動区域の拡大が見込まれます。

**問** 令和4年度の「ふくしま森林再生事業」は。

**答** 令和3年度に発注した地区の森林整備を進めるとともに、新たに3地区(西台21.5ha、酒田8.0ha、苅宿23.9ha)の同意取得等を実施します。

### ■ 建設課 ■ 町内インフラ整備工事などの進捗について

**問** 令和3年度道路整備・災害復旧事業実績は。

**答** 町道改築は請戸漁港小高瀬迫線、大平山来福寺東線、一里檀大町線の工事が完了しました。令和元年、台風19号の災害にあった道路と河川の復旧工事は完了しております。

**問** 他の事業は。

**答** 先人の丘工事は完了、丈六公園整備工事その2を施工中です。浪江駅周辺整備事業計画が、都市計画事業の認可をいただきました。国道114号防犯灯設置工事を国道6号線交差点まで20基整備し完了しました。

## ● 文教・厚生常任委員会 ●

教育委員会、健康保険課、介護福祉課、浪江診療所、仮設津島診療所が所管する案件を審議しています。

委員長 佐々木勇治  
副委員長 吉田 邦弘  
委員 半谷 正夫  
佐々木 茂  
平本 佳司  
紺野 榮重



### ■ 介護福祉課 ■ 福祉センターについて

**問** 浪江町福祉センター（ふれあい福祉センター）の概要は。

**答** 事務所棟には介護関連事業者等が入所予定で、通所介護事業所棟では、地域密着型通所介護事業所、総合事業通所型サービス、お泊りデイサービス等の介護サービス事業を展開予定です。

### ■ 介護福祉課 ■ 敬老祝金について

**問** 敬老祝金の支給額は。

**答** 祝金の額は下記表のとおりです。  
また、年齢100歳の誕生日を迎えた方には下記祝金の他、特別敬老祝金として10万円を支給しております。

年齢区分	祝金の額
80歳以上85歳未満	7千円
85歳以上90歳未満	8千円
90歳以上	1万円

### ■ 健康保険課 ■ 新型コロナウイルス ワクチン接種について

**問** コロナワクチン2回目接種年齢別人数は。

**答** 下記表のとおりとなっております。  
また、何かしらの理由で接種できていない方が3千人近くいます。

年齢	人数
65歳以上	5,642名
18歳から64歳	6,968名
12歳から17歳	511名

※令和4年3月15日時点

### ■ 教育委員会 ■ 出産祝金について

**問** 出産祝金の支給額は。

**答** 下記表のとおりです。

対象	金額
第1子	5万円
第2子	5万円
第3子以降	20万円

### ■ 教育委員会 ■ ポケットパーク整備について

**問** 各学校跡地にポケットパーク整備の予定があるが、概要は。

**答** 100㎡程度の面積を予定しており、学校の記念碑、記念樹の移植など学校があった証を残します。

### ■ 教育委員会 ■ パークゴルフ場整備について

**問** 沿岸部にパークゴルフ場整備の計画があるが、規模はどのくらいか。

**答** 36ホールを計画しており、町のパークゴルフ協会の方々とも相談しながら内容を精査する予定です。

# 議会活動の経過報告 1月11日～4月10日

(定例会及び臨時会中の全員協議会・各委員会を除く)

## 1月

- 11日 ・議会報編集特別委員会
- 12日 ・双葉地方町村議会議長会要望活動  
(～13日) (東京町)
- 14日 ・タブレット研修会
- 18日 ・福島県町村議会議長会理事・監事合同  
会議 (福島市)
- 19日 ・議会運営委員会
- 27日 ・第1回臨時会 ※1

## 2月

- 1日 ・来福寺橋開通
- 8日 ・浪江町復興協議会
- 10日 ・議会運営委員会  
・全員協議会  
・議会報編集特別委員会  
・総務常任委員会
- 14日 ・双葉地方広域市町村圏組合議会保健衛  
生常任委員会 (富岡町)
- 15日 ・双葉地方広域市町村圏組合議会消防厚  
生常任委員会 (富岡町)
- 17日 ・双葉地方広域市町村圏組合議会総務常  
任委員会 (富岡町)
- 24日 ・議会運営委員会
- 25日 ・双葉地方広域市町村圏組合議会定例会  
(富岡町)

## 3月

- 3日 ・3月定例会(～15日) ※1
- 10日 ・防災施設内覧会
- 11日 ・なみえ創成中学校卒業証書授与式  
・先人の丘完成式  
・浪江町東日本大震災追悼式
- 18日 ・にじいろこども園卒園式
- 23日 ・なみえ創成小学校卒業式
- 25日 ・タブレット研修会
- 28日 ・議会報編集特別委員会  
・県道広野小高線(棚塩工区)開通式
- 29日 ・教職員離任式
- 30日 ・議会運営委員会

## 4月

- 1日 ・教職員着任式
- 3日 ・防災コミュニティセンター合同竣工式
- 4日 ・議会報編集特別委員会
- 6日 ・なみえ創成小学校入学式  
・なみえ創成中学校入学式  
・全員協議会
- 7日 ・にじいろこども園入園式
- 8日 ・議会報編集特別委員会

※1 本会議の出欠状況は、町ホームページ(浪江町議会→会議結果一覧)をご覧ください。



## 総務常任委員会事務調査報告

移住定住施策についての検討を深めるため、施策の取組・執行状況を確認し、意見交換を行った。

**【日時】** 令和4年2月10日(木) 13:00～15:30

**【内容】** 1. 令和3年度の移住定住施策の執行状況  
2. なみえプロモーション課の活動経過について  
3. 移住相談窓口での相談対応について

**【意見交換】** ※主な意見を抜粋

- ① 住まいにおける賃料が高い。
- ② 求人が建設業に偏っている。
- ③ 移住者の定義が「転入届のうち、県外から継続的に(概ね5年以上)に移住する意思を持って移り住む方(転勤、進学を除く)」となっているが、本当にこの定義づけでいいのか。  
・福島県において定義付けをしていることから補助金との関係で同様とした。  
・実際的には、若者世代が町づくりに地域社会に参加していくことが非常に重要であると考えている。従って、仕事、住まいの課題に重点的に取り組んでいく。

**【総括】**

- ① 移住定住施策は、大変重要な事業であるとの認識を持ち、また浪江町におけるインセンティブをアピールする施策が大事であることを踏まえ、次年度は、今年度以上に結果を出せるよう取り組んでもらいたい。
- ② 何よりも人口増に結び付くことが大事である。移住定住者が何人になったのか等実績を把握し、実施・展開できるよう努力願いたい。

# 令和3年度 浪江町議会の活動状況報告

令和3年度の本町議会活動状況を報告いたします。

なお、掲載については、本会議（定例会・臨時会）、全員協議会、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会等の出席としています。

双葉地方広域市町村圏組合議会や各種行事・研修会などへの出席は掲載しておりませんので、ご了承ください。

○：出席 ☆：所属外による出席 ●：欠席 公：公務による欠席 -：委員会等に所属しない議員

## 【改選前】（令和3年4月30日までの活動）

開催年月日	会議名称	議席番号															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
R 3 . 4 . 6	議会報編集特別委員会（171号第2回）	大浦 泰夫	石井 悠子	高野 武	佐々木 恵寿	半谷 正夫	紺野 則夫	佐々木 勇治	平本 佳司	山崎 博文	渡邊 泰彦	松田 孝司	山本 幸一郎	泉田 重章	紺野 榮重	佐藤 文子	馬場 績
		○	○	○	-	○	-	-	●	-	-	○	-	-	-	-	-

## 【改選後】（令和3年5月1日からの活動）

開催年月日	会議名称	議席番号															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
R 3 . 5 . 7	令和3年第2回臨時会	武藤 晴男	紺野 豊	吉田 邦弘	佐々木 恵寿	小澤 英之	半谷 正夫	紺野 則夫	佐々木 茂	山本 幸一郎	高野 武	渡邊 泰彦	松田 孝司	平本 佳司	佐々木 勇治	山崎 博文	紺野 榮重
R 3 . 5 . 7	議会運営委員会	-	○	-	☆	-	-	○	-	☆	-	○	-	○	○	-	○
R 3 . 5 . 7	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 5 . 7	常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 5 . 7	議会報編集特別委員会	○	○	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
R 3 . 5 . 12	議会報編集特別委員会（171号第3回）	○	○	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
R 3 . 5 . 24	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 6 . 2	議会運営委員会	-	○	-	☆	-	-	○	-	☆	-	○	-	○	○	-	○
R 3 . 6 . 8	令和3年6月定例会（1日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 6 . 8	議会運営委員会	-	○	-	☆	-	-	○	-	☆	-	○	-	○	○	-	○
R 3 . 6 . 9	令和3年6月定例会（2日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 6 . 9	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 6 . 10	常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 6 . 11	常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 6 . 14	全員協議会（町内施設の視察）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 6 . 15	令和3年6月定例会（3日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 6 . 15	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 6 . 15	議会運営委員会	-	○	-	☆	-	-	○	-	☆	-	○	-	○	○	-	○
R 3 . 6 . 16	令和3年6月定例会（4日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 6 . 16	産業・建設常任委員会	○	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-
R 3 . 6 . 16	議員定数調査特別委員会	-	-	○	-	○	○	-	○	-	○	-	○	-	-	○	○
R 3 . 6 . 16	議会運営委員会	-	○	-	☆	-	-	○	-	☆	-	○	-	○	○	-	○
R 3 . 6 . 16	議会報編集特別委員会（171号合評）	○	○	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
R 3 . 6 . 28	議会報編集特別委員会（172号第1回）	○	○	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
R 3 . 7 . 2	議会報編集特別委員会（172号第2回）	○	○	○	-	○	-	-	●	-	○	-	-	-	-	-	-
R 3 . 7 . 8	議会報編集特別委員会（172号第3回）	○	○	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
R 3 . 7 . 8	議員定数調査特別委員会	-	-	○	☆	○	○	-	○	☆	○	-	○	-	-	○	○
R 3 . 8 . 5	議会運営委員会	-	○	-	☆	-	-	●	-	☆	-	○	-	○	○	-	○
R 3 . 8 . 11	令和3年第3回臨時会	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 8 . 11	常任委員会	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 8 . 11	議会報編集特別委員会（172号合評）	○	○	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
R 3 . 8 . 11	議員定数調査特別委員会	-	-	○	-	○	○	-	○	-	○	-	○	-	-	○	○
R 3 . 8 . 19	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
R 3 . 8 . 31	議会運営委員会	-	○	-	☆	-	-	●	-	-	-	○	-	○	○	-	○
R 3 . 9 . 7	令和3年9月定例会（1日目）	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○

開催年月日	会議名称	議席番号															
		1 武藤 晴男	2 紺野 豊	3 吉田 邦弘	4 佐々木 恵寿	5 小澤 英之	6 半谷 正夫	7 紺野 則夫	8 佐々木 茂	9 山本 幸郎	10 高野 武	11 渡邊 泰彦	12 松田 孝司	13 平本 佳司	14 佐々木 勇治	15 山崎 博文	16 紺野 榮重
R 3 . 9 . 7	議会運営委員会	-	○	-	☆	-	-	●	-	☆	-	○	-	○	○	-	○
R 3 . 9 . 8	令和3年9月定例会（2日目）	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 9 . 9	常任委員会	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 9 . 10	常任委員会	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 9 . 14	全員協議会	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 9 . 15	令和3年9月定例会（3日目）	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 9 . 16	令和3年9月定例会（4日目）	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 9 . 16	議員定数調査特別委員会	-	-	○	-	○	○	-	○	-	○	-	○	-	-	○	○
R 3 . 9 . 30	議会報編集特別委員会（173号第1回）	○	○	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
R 3 . 10 . 8	議会報編集特別委員会（173号第2回）	○	○	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
R 3 . 10 . 8	議員定数調査特別委員会	-	-	○	-	○	○	-	○	-	○	-	○	-	-	○	○
R 3 . 10 . 12	議会報編集特別委員会（173号第3回）	○	○	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
R 3 . 10 . 27	議会運営委員会	-	○	-	☆	-	-	○	-	☆	-	○	-	○	○	-	○
R 3 . 11 . 2	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
R 3 . 11 . 2	議員定数調査特別委員会	-	-	○	-	○	○	-	○	-	○	-	○	-	-	●	○
R 3 . 11 . 10	令和3年第4回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 11 . 10	議会報編集特別委員会（173号合評）	○	○	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
R 3 . 11 . 10	文教・厚生常任委員会	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○	○	-	○
R 3 . 11 . 18	議会運営委員会	-	○	-	☆	-	-	○	-	☆	-	●	-	○	○	-	○
R 3 . 12 . 1	全員協議会	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 12 . 1	議会運営委員会	-	○	-	☆	-	-	●	-	☆	-	○	-	○	○	-	○
R 3 . 12 . 7	令和3年12月定例会（1日目）	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 12 . 7	議員定数調査特別委員会	-	-	○	-	○	○	-	○	-	○	-	○	-	-	○	○
R 3 . 12 . 8	議会運営委員会	-	○	-	☆	-	-	●	-	☆	-	○	-	○	○	-	○
R 3 . 12 . 8	令和3年12月定例会（2日目）	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 12 . 8	全員協議会	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 12 . 9	常任委員会	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 12 . 14	令和3年12月定例会（3日目）	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 3 . 12 . 27	議会報編集特別委員会（174号第1回）	○	○	●	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
R 4 . 1 . 4	議会運営委員会	-	○	-	☆	-	-	●	-	☆	-	○	-	○	○	-	○
R 4 . 1 . 6	議会報編集特別委員会（174号第2回）	○	○	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
R 4 . 1 . 11	議会報編集特別委員会（174号第3回）	○	○	○	-	○	-	-	○	-	●	-	-	-	-	-	-
R 4 . 1 . 19	議会運営委員会	-	○	-	☆	-	-	○	-	☆	-	○	-	○	○	-	○
R 4 . 1 . 27	令和4年第1回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 4 . 1 . 27	常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 4 . 1 . 27	議会運営委員会	-	○	-	☆	-	-	○	-	☆	-	○	-	○	○	-	○
R 4 . 2 . 10	議会運営委員会	-	○	-	☆	-	-	○	-	☆	-	○	-	○	○	-	○
R 4 . 2 . 10	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 4 . 2 . 10	議会報編集特別委員会（174号合評）	○	○	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
R 4 . 2 . 10	総務常任委員会	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-
R 4 . 2 . 24	議会運営委員会	-	○	-	☆	-	-	○	-	☆	-	○	-	○	○	-	○
R 4 . 3 . 3	令和4年3月定例会（1日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 4 . 3 . 4	令和4年3月定例会（2日目）	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 4 . 3 . 4	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 4 . 3 . 7	常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 4 . 3 . 8	常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 4 . 3 . 9	常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 4 . 3 . 10	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 4 . 3 . 14	令和4年3月定例会（3日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 4 . 3 . 15	令和4年3月定例会（4日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 4 . 3 . 28	議会報編集特別委員会（175号第1回）	○	○	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
R 4 . 3 . 30	議会運営委員会	-	○	-	☆	-	-	○	-	☆	-	○	-	○	○	-	○

# 議員定数に関する 町民アンケート調査結果について

浪江町議会では、議員定数調査特別委員会を令和3年6月に設置して、議員定数についての具体的な検討に入りました。議論にあたって、町民の皆様からのご意見を参考とさせていただくため、議員定数に関する町民アンケート調査を実施させていただきました。

今回、1245名の皆様からお寄せいただいた貴重なご意見は、適正な議員定数の議論をはじめ、議会活動及び議会改革に反映させてまいります。

本アンケートの趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

浪江町議会議長 佐々木 恵寿

## I. 調査の方法

- 1 調査対象 「なみえ議会だより」を配布している全世帯
- 2 対象世帯数 約9300世帯
- 3 調査方法 「なみえ議会だより」に同封し、世帯代表者による無記名アンケートで郵送による回収
- 4 調査期間 令和4年2月1日～2月28日

## II. 回収状況

- 1 発送数 9300通
- 2 回収数 1245通
- 3 回収率 13.4%

## 調査結果

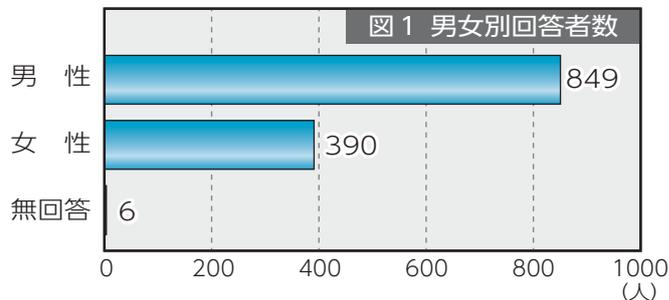
(注)調査結果の数値は小数点第2位を四捨五入しています。

### 質問1 あなたの性別を教えてください。

表1 男女別回答者数 (人)

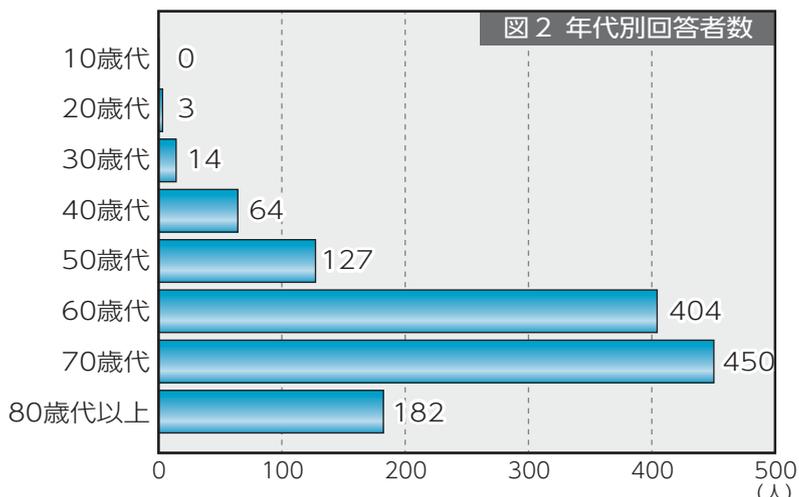
性別	男性	女性	記載なし	総計
回答者数	849	390	6	1245

- ▶回答者総数は、1245人でした。
- ▶男女別の内訳と割合は  
男性が 849人 (68.2%)  
女性が 390人 (31.3%)  
無回答が 6人 (0.5%)
- ▶男性の回答者が多かったです。



### 質問2 あなたの年齢を教えてください。

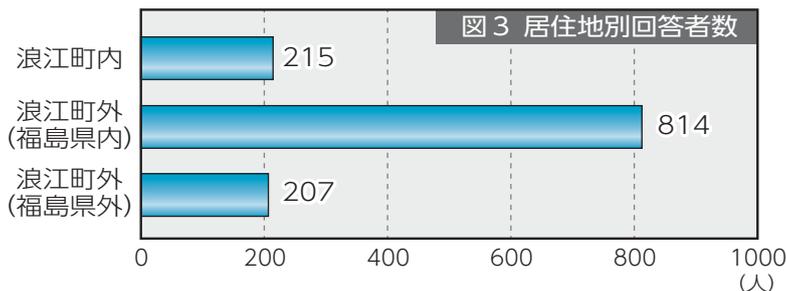
- ▶年代別の内訳と割合は  
10歳代が 0人 (0.0%)  
20歳代が 3人 (0.2%)  
30歳代が 14人 (1.1%)  
40歳代が 64人 (5.1%)  
50歳代が 127人 (10.2%)  
60歳代が 404人 (32.5%)  
70歳代が 450人 (36.2%)  
80歳代以上が 182人 (14.7%)
- ▶最も回答が多かった年代は、70歳代でした。



## 質問3

現在のあなたのお住まい(避難先)を教えてください。

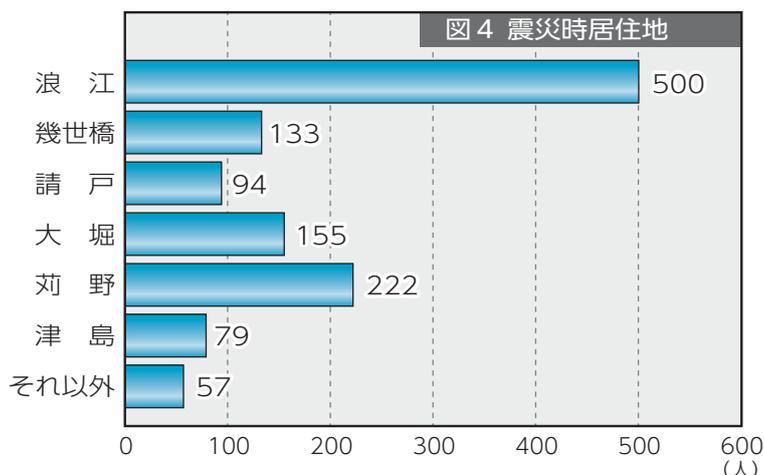
- ▶居住地別の内訳と割合は  
 浪江町内が 215人 (17.4%)  
 浪江町外(福島県内) 814人 (65.9%)  
 浪江町外(福島県外) 207人 (16.7%)
- ▶最も回答が多かった居住地は、  
 浪江町外(福島県内)でした。



## 質問4

震災時に(平成23年3月11日)にお住いの地区を教えてください。

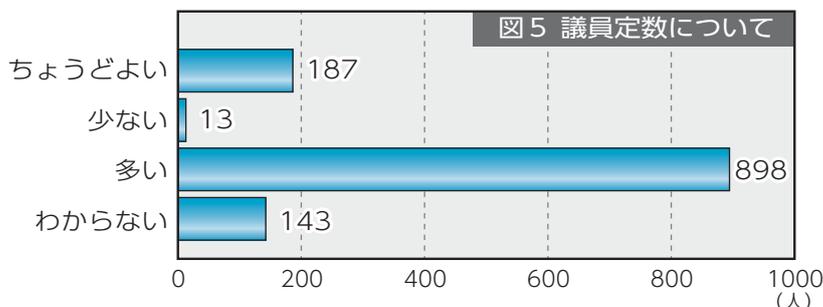
- ▶震災時の地区別居住地の内訳と割合は  
 浪江地区が 500人 (40.3%)  
 幾世橋地区が 133人 (10.7%)  
 請戸地区が 94人 (7.6%)  
 大堀地区が 155人 (12.5%)  
 刈野地区が 222人 (17.9%)  
 津島地区が 79人 (6.4%)  
 それ以外が 57人 (4.6%)
- ▶最も回答が多かった地区は、  
 浪江地区でした。



## 質問5

現在の議員定数16人について、どのように思われますか。

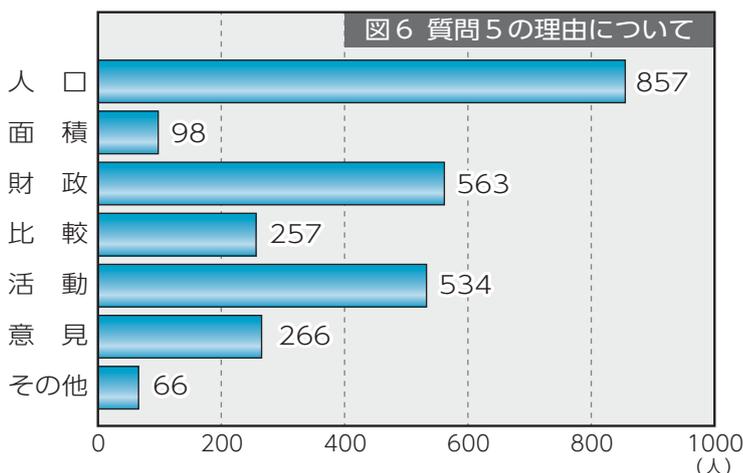
- ▶定数16人について  
 「ちょうどよい」が 187人 (15.1%)  
 「少ない」が 13人 (1.0%)  
 「多い」が 898人 (72.4%)  
 「わからない」が 143人 (11.5%)
- ▶最も多かった回答は、  
 「多い」でした。



## 質問6

質問5の理由をお聞かせください。(複数回答可)

- ▶質問5の理由は  
 町の人口が 857人 (32.5%)  
 町の面積が 98人 (3.7%)  
 町の財政状況が 563人 (21.3%)  
 他の議会との比較が 257人 (9.7%)  
 議会活動が見えないが 534人 (20.2%)  
 もっと町民の意見を反映が 266人 (10.1%)  
 その他 66人 (2.5%)
- ▶最も多かった回答は、  
 人口 (32.5%) でした。



# 町民の声



大和田明美さん  
(1 区)

## 浪江町に帰還して

自宅の側の桜並木は、今年も11年前と同じく美しい花をつける事でしょう……。

2011年の4月11日に防護服を着て主人と共に自宅に戻った時の桜を私は忘れる事ができません。

その年は、いつにも増して美しいピンク色の桜が川岸を覆い尽くしていました。自宅に戻ってきた私達を歓迎している様な、そして桜を残して去っていく私達を淋しがっている様な……。

私は、主人と共に2年前の2月末に浪江町に帰還しました。福島市の友人達は、私達が便利で交通の便もよい福島市を離れて浪江の自宅に帰る事を、とても心配していました。福島市中

の映画やショッピングに慣れてしまった私達が、浪江町に戻りやっていたら心配してくれていたんだと思います。確かに戻った当初は、欲しい物が売っていないなったり、夜のあまりの暗さや寂しさにビクビクしたり、イノシシやキツネに怯えたりの日々でした。夜中のあまりの静けさに、物音がすると怖くてビクビクしたりもしました。

しかし、2年間、生活して改めて感じる事は、前に書いた全ての事にも負けない私達らしい暮らしが、ここ浪江にはあるという事です。早起きして庭に出て小鳥の囀りを聞いたり、大事に育てた薔薇に水をあげたり、休みには、デッキに座ってビールを夫婦で飲んだりしています。主人が芝生の手入れをして、私が愛犬と遊んだりしている日常は、だれにも気兼ねする事のない浪江での生活です。

私と主人は幸いにも仕事に浪江でも就くことができ、私は役場の側の仮設商店街の『ミッセなみえ』で働いています。コロナの影響もあり来客数は多いとは言えませんが、常連のお客様や浪江を離れて暮らす町民の方々が、立ち寄って近況などを

話せる場所で勤務できる事は、私にとっても生活の張りとなっています。

町や議会への要望は、多々ありますが、震災前と同じ浪江町に戻してほしいと言っても無理なので、浪江町で生活している町民が帰還して良かったと思える町づくりをしていただき、町に戻ってこれない町民にも寄り添える行政であってほしいと思います。

あの日から11年目の春になります。それぞれ長編小説が書けるぐらい色々あった11年でしょう。それでも桜の様に前を向いて歩いていける日々がそれぞれの生活に、そして浪江の将来に來る事を期待しています。

### 「町民の声」に掲載する 原稿を募集しています。

議会に対するご意見、要望、感想等をお寄せいただける方は、浪江町議会事務局 (☎0240-34-0254) または、議会報編集特別委員にご連絡ください。

## 編集後記

いつの間にか新緑のまぶしい季節となりました。自然の強い生命力を感じます。

五月となるとだんだん暑い日が多くなる季節となり、マスクの着用が必須となっている現在においては、熱中症に気を付けなければなりません。

こまめな水分補給を心がけて、自分自身の健康管理に努めましょう。(小澤)



### 発行責任者

議長 佐々木 恵 寿

### 議会報編集特別委員会

委員長 高野 武  
副委員長 紺野 武豊  
委員 武藤 晴男  
吉田 邦弘  
小澤 英之  
佐々木 茂